

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0101	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市域全体	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>○線引きや用途地域、街路計画等、都市計画全般についての検討と策定を行う。 ○都市計画の決定及び変更を都市計画審議会に付議又は諮問し議決又は意見を求める。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><取組みの基本></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画基礎調査を実施し、都市計画の決定や変更に必要な検討 課題のある区域の現状を把握し、問題点を洗い出し 窓口支援システムの内容更新を行い、正確かつ迅速な窓口対応を実現 都市計画審議会の開催 立地適正化計画の策定(R2-R3) 暫定用途地域解消に向けた検討 都市計画道路見直しに向けた検討
	的確な都市計画の推進により、良好な市街地が形成されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	都市計画基礎調査の調査項目数	件	2	2	2	2
	審議会開催数	回	1	3	2	1
成果指標	整備の完了した区域の面積	ha	602.1	604.5	604.5	604.5
事業費 計			6,357	13,692	3,004	2,827
指 標・事業費	財源内訳	ア 国		2,100		
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	463	260	810	472
		オ 一般	5,894	11,332	2,194	2,355

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標Cについては、実績値が変化ない。 (原因) 整備が完了した区域は、市街地整備の完了時点で増加するものの、土地区画整理等の市街地整備事業は順調に進められている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	立地適正化計画の策定に着手します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	都市構造調査分析結果を都市計画審議会で報告し、立地適正化計画の策定に着手。		

街づくり支援専門家派遣事業

[1203]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0103	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	街づくり活動団体	<p>制度の趣旨</p> <p>市民が主体となった都市整備を促進するため、地域の街づくりを行っている団体に専門家を派遣し、専門的な助言や街づくりに関する情報提供などを行うことで、地域の特性や資源を活かした個性ある街づくりにつなげる。</p> <p>具体的な方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 街づくりに取り組む市民団体からの応募内容を審査 派遣決定の場合は、市が委託契約を締結した支援者を派遣 派遣期間終了後、実績報告を徴収 <p>取組み経緯・概要</p> <p>H23～25「三郷駅前周辺整備検討会」へ派遣し、毎月1回程度検討会を開催する。 H26～H29「三郷駅周辺まちづくり協議会」へ派遣し、毎月1回以上協議会を開催する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	専門家派遣団体数	団体	1	0	1	0	
	街づくり計画作成活動参加人数	人	30	0	20	0	
成果指標	街づくり計画作成数	件	1	0	1	0	
事業費 計			972				
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	972			

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	<p>(状況)「街づくり計画作成数」は、現在派遣を希望する団体がいないため低下しています。「秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合」は前年度実績から0.4%増加しています。</p> <p>(原因)「街づくり計画作成数」は、制度が十分に認知されていないため、現在派遣を希望する団体がいないと考えられます。</p> <p>「秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合」は前年度に引き続き高い水準で安定しており、向上の余地は小さいと考えられます。</p>
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	休廃止
	<p><R元終了事業></p> <p>31-0101都市計画検討・策定事務に統合</p>		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市計画マスタープラン推進事業

[1213]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0104	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内全域	<p>○尾張旭市都市計画マスタープランの確実な進行管理と、社会状況等の変化に基づく内容の適宜見直しを行うことによって、その積極的な推進につなげる。</p> <p><取組みの基本></p> <ul style="list-style-type: none"> 関係各課へ都市計画マスタープランの進捗状況等を確認 進捗状況の集計に基づき、都市計画マスタープラン庁内推進会議を開催 会議検討結果を各課へ通知するとともに、市ホームページを通じて公表
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
都市計画マスタープランの確実な進行管理と柔軟な見直しによって、同プランに掲げる都市づくりの理念と目標の実現につながっている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	庁内推進会議開催回数	回	1	1	2	1	
成果指標	各種方針の進捗率	%	96.1	96.1	97	96.4	
		%					
指標・事業費	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般							

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 成果指標Cは、H30実績から0.3ポイント増加しています。 (原因) 進捗率が高い水準であることから微増であるが少しずつ着実に進められている。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	都市計画マスタープランの部分改定を行います。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成30年10月に部分改定を実施。			

開発許可等申請事業

[427]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0105	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	申請者(届出者)、愛知県	<p>各種申請事務 事業者からの申請に対し、市町村建築行政事務処理要綱及び市町村開発行政等事務処理要綱に基づき、愛知県へ進達する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築確認申請 ・ 特定施設整備計画届出書 ・ 都市計画法開発許可申請 建築許可申請 ・ 宅地造成規制法に基づく申請 ・ 道路位置指定申請書 建設リサイクル法に基づく届出 ・ 優良宅地、優良住宅認定
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>地区計画審査 ・ 地区整備計画が定められた区域内で建築行為等をする者から届出書を受理し、内容を審査した結果条例に適合している場合は、適合書を交付する。</p> <p>宅地開発等指導要綱事務 ・ 事業者から宅地開発等指導要綱に基づく申請に伴い、よりよい街づくりになるよう指導を行う。 ・ 都市計画法の開発許可基準に合致するよう愛知県及び事業者との調整を行う。</p> <p>建築相談事務 ・ 事業者、住民からの建築に関する相談に対し、必要に応じた助言等を行う。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	開発許可件数(進達件数)	件			35	39
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 未設定</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

北原山土地区画整理事業

[384]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0107	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	北原山町、南原山町、新居町、東大町、大久手町、北山町の各一部	土地区画整理組合に対して補助金等の資金援助を行うとともに県その他関係機関との調整を行う。 組合事業全般に対して勧告、助言を行い、土地区画整理事業の円滑な推進を図る。 平成12年度 事業開始 平成17年6月 仮換地指定 平成21年度 事業計画(3回)の変更認可 平成22年度 総会(役員改選)、総代選挙 平成27年度 総会(役員改選)、総代選挙 平成28年度 実施計画(2回)、事業計画(4回)の変更認可 平成29年度 事業計画(5回)の変更認可 令和元年度 実施計画(3回)、事業計画(6回)の変更認可 令和2年度(予定) 総会(役員改選)、総代選挙 令和14年度(予定) 換地処分 令和15年度(予定) 組合解散
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	公園、道路などができ、住みよい街をつくることによって、「子育てしやすいまちだと思つ保護者の割合」が向上する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	事業進捗率(事業費ベース)	%	57	62	67	67
	建物移転件数				31	30
成果指標	区画内の公共用地の整備率(秩序ある街区形成)	%	17	18	38	38
	地区内人口				3,520	3,532
事業費 計			817,700	709,500	929,556	929,556
財源内訳		ア 国	384,350	244,750	307,000	307,000
		イ 県				
		ウ 地方債	100,000	100,000	250,000	250,000
		エ その他				
		オ 一般	333,350	364,750	372,556	372,556

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	事業進捗を図るため、引き続き組合を支援します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

事業進捗を図るため、尾張旭北原山土地区画整理組合に補助金を交付し、区域内の道路築造、街区整備の促進を支援した。
 建物移転件数 30件
 道路築造 都市計画道路 42m、区画道路362m、特殊道路35m

北山地区まちづくり支援事業

[1174]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0108	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

【都市計画マスタープラン掲載重点事業】
 市街化区域の未整備についてモデル地区を設定し、住民主導でまちの問題点や改善点を見つけ出し、意見交換会、ワークショップ等を行い問題点等を協議し、まちづくりの手法を導き出していく。
 平成20年度 意見交換会開催
 平成21年度 タウンウォッチング開催、ワークショップ開催
 平成22年度 まちづくり討論会開催、まちづくりグループ結成
 (平成23年度より北山地区まちづくり運営委託事業から北山地区まちづくり支援事業へ名称変更)
 市街化区域未整備地区の北山地区で結成された、将来の都市基盤整備を視野に入れた地元まちづくりグループをソフト面で支援する。
 平成23年度 まちづくりグループ設立、イベント等活動を支援
 平成24年度以降 まちづくりグループ活動支援
 平成25年度 あいちモリコロ基金初期活動助成金を申請、採択される。
 平成28年度～ 狭あい道路路線整備事業によるモデル路線の検討
 平成30年度 やるまい!北山を街づくり推進団体に認定
 令和元年度 やるまい!北山に専門家派遣

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	活動支援の回数(会議等の出席回数)	回	15	15	15	10	
成果指標							
事業費 計			52	48	50	24	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	52	48	50	24

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 一部遅延あり 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

狭あい道路路線整備事業

[1280]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0109	実施計画
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	良好な市街地の形成	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・市街化区域内のうち土地区画整理事業が実施又は計画されていない区域内で、幅員4m未満で一定区間(交差点から交差点)に接する土地の地権者等	地域住民による街づくり推進団体が設立され、整備計画を策定する。街づくり推進団体が関係地権者へ事業説明等を行い、関係地権者全員の同意を得る。街づくり推進団体が策定した計画を市が承認した後、市が測量・分筆登記・道路整備を行う。用地を寄附した地権者には奨励金を、支障物件を除去した地権者には助成金を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成28年度 尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の制定 対象路線の検討 平成29年度~ 整備計画の策定 関係地権者の同意 同意が得られれば対象路線の整備 平成30年度 尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の制定(改正) やるまい!北山を街づくり推進団体に認定 令和元年度 やるまい!北山に専門家派遣を実施 令和2年度 尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の改正素案作成
	対象路線(交差点から交差点)の道路幅員が、4m以上確保されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	街づくり推進団体の活動支援回数(会議参画等)	回	0	1	15	10
	街づくり推進団体認定件数	件			1	1
成果指標	本事業における狭あい道路解消延長(累計)	m	0	0	0	0
	狭あい道路解消整備計画策定数	回			0	0
事業費 計					500	484
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				500

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が大きい
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	良好な市街地の形成を進めるため、尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の見直しを行います。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	×
狭あい道路路線整備のモデル地区に専門家派遣を行った。関係地権者の同意を得るための課題もあり、令和2年度以降に尾張旭市街づくり(狭あい道路路線整備)支援要綱の見直しを行うこととした。			

公園維持管理事業

[418]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0201	実施計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 市管理の公園(都市公園、ちびっ子広場等) 市民 	<ul style="list-style-type: none"> 公園がやすらげる公共空間として市民の憩いの場となるよう市民の要望等に基づき維持管理、整備などを行う。 地域住民により公園愛護会が設立され、自主的に公園の維持管理が行われるよう、ワークショップなどを開催し、地域住民の公園に対する愛着心を高める。 公園愛護会は、自治会、町内会、子供会、老人クラブ又は公園周辺の地域住民により構成され、公園内の雑草の除去、清掃、公園愛護思想の普及啓発などの活動を行っています。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><公園の種類> R2.4.1現在</p> <p>都市公園等・・・81箇所(旭平和墓園を除く。)</p> <p>ちびっ子広場等・・・52箇所</p> <p>その他(維摩池、大森池)・・・2箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に安心して子供たちが遊べる場所として、公園の遊具等を適正に維持管理することにより、子育てしやすい環境を整える。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	m ² 当たりの維持管理事業費(事業費/開設面積) (開設面積=都市公園供用面積-墓園+ちびっ子広場等+維摩池外)	円	198	204	216	210	
	公園に満足している市民割合	%	26	26.8	30	25	
成果指標	公園愛護会活動充実プラン採用団体数	団体	9	9	15	12	
	事業費 計			104,580	107,210	113,770	114,554
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		3,302	3,271	3,131	3,068
		オ 一般		101,278	103,939	110,639	111,486

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)公園に満足している市民割合は減少している。公園愛護会充実プラン採用団体数は増加している。</p> <p>(原因)全国植樹祭を開催したことから、公園や緑に対する意識の醸成が図られたことが考えられる。</p>
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	<p>公園等に設置された記念碑等の耐震化を進めます。</p> <p>施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。</p>		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

公園等に設置された記念碑等の耐震化については、同様の案件を持った他課の方針を確認したが、耐震化工事には至っていない。

施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し実施した。

都市公園新設事業

[419]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0202	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	都市公園 市民	旭前城前(区)内街区公園(9箇所) 区画整理事業との調整を図りながらH24年度からワークショップによる実施設計を行い、H28年度までに地区内9公園の整備を完了した。 都市再生整備計画事業に計上している。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	地域住民の憩いの場、やすらぎの場、楽しめる場として、また災害時の一時避難地として公園整備がされている。 地域住民により公園愛護会が設立され、公園が自主的に管理されている。	北原山(区)内街区公園(5箇所)、近隣公園(1箇所) 整備時期はまだ未定であるが、区画整理事業との調整を図りながら整備を進める。 区画整理事業の進捗に伴い、子供達の遊び場を確保するため、H30年度に街区公園予定地の一部を暫定広場(2箇所)として整備する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	ワークショップ等への参加者数	人	0	0	10	0	
						0	
成果指標	一人当たり都市公園面積	m ² /人	9.3	9.3	9.3	9.5	
						0	
事業費 計				3,939			
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他			3,939		
		オ 一般					

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	(状況・原因)平成28年度以降都市公園の新設は行っていない。新設を行えば、指標は上がる。
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園改良事業

[1017]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0203	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> ・街区公園近隣住民 ・街区公園 	<p>老朽化した公園の改良工事を行う。</p> <p>工事前に行う基本設計、実施設計において、住民参加によるワークショップを行い、設計から整備まで係わることで公園に対する愛着を深め、完成後も維持管理や公園での自主活動を行う公園愛護会の充実を目指す。</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した公園を改良して、よりやすらげる公共空間になっている。 ・公園改良後、地域住民から組織される公園愛護会により、適切に公園の維持管理が行われている。 	<p>平成26年度に下川原公園に複合遊具を設置した。</p> <p>平成31年度に城山公園拡張事業完了後に東栄公園等の改良事業に着手する計画である。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	ワークショップ等への参加住民数	人	0	0	0	0
成果指標	街区公園改良箇所数(累計)	箇所			0	0
	対象公園愛護会会員数	人	0	0	0	0
事業費 計						
財源内訳		ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が大きい</p>	<p>(状況) 老朽化した街区公園の改修は実施されていない。</p> <p>(原因) 街区公園の改良を行えば、さらに成果が向上することが見込まれる。</p>
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

街区公園トイレ設置事業

[1165]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0204	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者(市民) 都市公園 	<p>公園のトイレは、必ずしも必要ないが公園利用者の快適性と利便性を高めるため、公共下水道の整備状況等を考慮し計画的に整備する。</p> <p>平成30年4月1日現在 67都市公園中トイレ未整備数 16公園 うち、公共下水道供用開始区域内 14公園</p>
	<p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>より快適で安全に公園を利用できるようになっている。</p>	<p>〔トイレ未整備公園〕 黒石公園、長池上公園 次の公園は、公共下水道供用開始区域内 東名西公園、藤池公園、狩宿新町第2号公園、本地ヶ原東公園、 白山公園、池上公園、晴丘東公園、広久手公園、白鳳公園、中畑公園、 桜ヶ丘公園、とちの木公園、本地ヶ原南公園、池の端公園</p> <p>トイレを設置することにより、安心して子供たちを遊ばせる環境を整える。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	トイレ設置済み公園数	箇所	51	51	51	51
	トイレ整備率	%			76	76
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

城山公園拡張事業

[1255]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	31-0205	実施 計画	対象
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	02	公園等によるうるおいのある空間づくり	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	城山公園 公園利用者	尾張旭市の総合公園である城山公園の区域を拡張し、総合公園として市民の憩いの場、安らぎの場として利活用が図られるようにする。 <拡張面積> A = 1.4ヘクタール <整備施設> 遊具広場、芝生広場、文化スポーツ課所管施設(文化スポーツ課にて対応)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成25年度 都市計画決定資料作成委託 平成26年度 都市計画決定の変更 平成27年度 平成28年度 公園用地購入(遊具広場)、仮設駐車場整備工事 平成29年度 公園用地購入(文化スポーツ課所管施設) 平成30年度 実施設計、公園用地購入(芝生広場) 平成31年度 公園整備工事
	城山公園の更なる充実を図り、子どもから大人まで、たくさんの方が集い、にぎわいのある公園になっている。	遊具等の公園施設の充実を図ることにより、子育てしやすい環境を整える。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動 指標	拡張工事の整備面積(ha)	ha	0	0	0.54	0.54
	購入公園用地(箇所)	箇所	1	0	0	0
成果 指標	拡張工事の整備率(%)	%	0	0	100	100
	公園用地購入率(%)	%	50	0	0	0
事業費 計			178,041	9,994	153,000	152,984
財源内訳		ア 国	75,100	3,200	48,000	48,000
		イ 県				
		ウ 地方債	90,000		64,800	64,800
		エ その他	10,000		16,000	16,000
		オ 一般	2,941	6,794	24,200	24,184

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 拡張事業の工事が完了した。 (原因) 拡張事業の工事が完了したため、整備率や満足度の向上が見込まれる。
--------	---	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成31年度中の完了に向け、事業の進捗を図ります。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	拡張事業の工事が完了した。		

都市景観形成事業

[423]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0301	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	都市景観の向上	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>○都市景観形成に向け屋外広告物の適正な管理を行うとともにイベント等の開催により啓発を行う。</p> <p><取組みの基本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月：にぎわいフェスタ実施、景観啓発 ・12月：尾張旭駅、印場駅、旭前駅前広場内でイルミネーション実施 ・12月：あさひ冬フェスタ実施 ・あさひ景観フォトサロン(ホームページ・ロビー展示・絵ハガキ作成) ・年3回路上広告物パトロール ・屋外広告物の許可事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・良好な景観が保全され新たに創出されている。
・見た人が、季節感やこころの安らぎを感じている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	「あさひ冬フェスタ」イベント数	個	29	28	30	26	
	「あさひ景観フォトサロン」への参加者数	人	11	11	15	11	
成果指標	屋外広告物撤去件数(景観改善件数)	件			45	25	
	駅前広場におけるイベントへの参加者数	人	16,215	15,910	10,000	10,562	
事業費 計			2,812	2,854	3,306	3,054	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		974	580	1,040	1,040
		オ 一般		1,838	2,274	2,266	2,014

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 成果指標Dは、前年度実績と比べ33.6%低下している。</p> <p>(原因) 台風の影響で市民祭が中止となり、同日開催のにぎわいフェスタも中止したことが原因と考えられる。</p>
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	都市景観意識啓発の取り組みを進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

・景観啓発の一環として、にぎわいフェスタや冬フェスタ等のイベントを開催
・屋外パトロールを実施し、景観意識啓発を実施。

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0401	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	市営住宅の適切な管理	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市営住宅(3団地・5棟・71戸)及び市営住宅入居者	<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の保守維持管理を直営で計画的に実施(消防設備は委託管理) 市営住宅の修繕要望の内容の判断と、経年劣化等入居者負担に適さないものについての対応 尾張旭市公営住宅長寿命化計画に基づいた、建物の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を目指した効率的な修繕、改善の実施
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>入居者管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 入退去者への対応 部屋の修繕、駐車場の検査、敷金及び保証金の返還、退去室内クリーニング広報とホームページで公募し抽選で入居者決定、賃貸借契約の締結、入居説明実施 家賃、駐車場使用料の徴収管理 毎年、収入申告書に基づき翌年度の家賃を決定 口座振替対象者分を各金融機関へ振替依頼、納付書支払者へ納付書を郵送 納入状況を确认后、滞納者へ督促状を郵送し早期完納を促す
良好な住宅環境となり市営住宅の機能が維持されている。入退去者への迅速な対応が行われ、空き部屋のない状態になっており、家賃及び駐車場使用料が完納されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	・修繕件数、工事件数 ・市営住宅の入居戸数	件(戸)	26(71)	46(71)	35(71)	32(71)
	家賃、駐車場使用料の納付額	円	22,458,430	22,938,500	23,000,000	22,284,840
成果指標	修繕率	%	100	100	100	100
	市営住宅の入居率及び家賃、駐車場使用料の納付率	%	100	100	100	100
事業費 計			12,106	28,680	6,844	6,649
財源内訳		ア 国	3,034	12,236	2,100	1,897
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	9,072	16,444	4,744	4,752
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	活動指標は100%を達成しており、この状態を維持していく必要がある。
--------	---	------------------------------------

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	国土交通省の策定指針に基づき長寿命化計画の策定を行います。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成28年度に国土交通省から示された長寿命化策定指針に基づき、「尾張旭市市営住宅長寿命化計画」を令和2年2月に策定した。			

北山集会施設等維持管理事業

[386]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0901	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 北山集会施設(旧北山区画整理集会所) 先行取得用地 	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備保守委託 浄化槽保守委託 先行取得用地草刈等委託
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) <ul style="list-style-type: none"> 集会所が適正に管理されている 先行取得用地が適正に管理されている 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	消防設備及び浄化槽点検回数	件	14	16	14	14	
	草刈施行回数	回	2	2	2	2	
成果指標							
事業費 計		千円	528	613	2,654	1,894	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	528	613	2,654	1,894	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	北山集会施設の有効活用に向けた検討を進めます。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	施設の一部解体の方針を決定した。		

道水路用地取得処分事務

[436]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者および関係者	道水路用地の取得及び処分を目的とし、不動産鑑定評価、用地測量、登記(表示及び権利)を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
道水路用地の取得処分により、道路の拡幅、排水路改修など整備が図られている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	不動産鑑定評価件数	件	1	0	1	1
	測量、登記件数	件	14	15	5	15
成果指標	道水路用地取得の結果、整備された道水路	件	8	8	3	6
事業費 計			796	2,230	1,288	1,486
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		796	2,230	1,288

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「道水路用地取得の結果、整備された道水路」はH30実績の8件と比較し2件少ない状況となった。しかし、R元計画と比較した場合、3件多い結果となった。 (原因)当初の計画と比較し、寄附等で取得した土地が多かったことが原因であると考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

道路台帳補正事業

[437]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0903	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市道、橋梁 台帳閲覧者	道路法第28条の規定によって、道路管理者はその管理する道路について、図面と調書からなる道路台帳の調整・保管が義務づけられている。 本市においては、GISをベースとした道路台帳のシステムを導入し、台帳の調整、保管、管理を行っている。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ol style="list-style-type: none"> 1 年度内に行った道路改良工事及び新設工事を調査 2 道路の形態が変わったもの、新しく道路が作られたものを選定 3 補正委託業者に道路台帳、台帳図の修正を委託 4 市役所窓口にて道路台帳の閲覧を行う
	道路台帳を道路の異動(新設・改良)に応じて適正に加除修正を行い、現況に即した状態で管理できている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	補正延長(部分改良、修正等を含む)	km	1	2	2	1	
	増減橋梁数	箇所	0	0	0	0	
成果指標	道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル	件数	0	0	0	0	
事業費 計			2,808	4,104	3,050	2,968	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	2,808	4,104	3,050	2,968

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)「道路台帳の数値誤りによる窓口等のトラブル」は、H30実績と同様に0件、R元計画とも同様の0件という結果となった。 (原因)当該年度に変更があった道路に関し、道路台帳の補正ができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

境界確認事務

[1195]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	31-0904	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	道水路用地の所有者及び関係者	土地境界確認申請書の提出を受け、申請地及びその周辺の土地に関する資料などの調査や現地立会いを行い、その結果により作成された境界確定図等の必要書類を確認し、証明を交付する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	官民境界確認証明書交付件数 H20:139件 H21:156件 H22:170件 H23:162件 H24:192件 H25:204件 H26:217件 H27:223件 H28:205件 H29:228件 H30:257件 R01:233件
	道水路用地と接する土地との境界を明確にし、後々のトラブルを解消する。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	官民境界確認申請件数	件	239	245	220	240
成果指標	官民境界確認証明書交付件数	件	228	257	220	233
事業費 計					400	327
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				400

R元年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 なし</p>	<p>(状況)「官民境界確認証明書交付件数」はH30実績と比較し24件、9.3%減少した。しかし、R元当初と比較すると、13件多い結果となった。 (原因)H30と比較し、申請件数が減少した(H30:245 R元:240)ため。</p>
--------	--	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市再生整備計画実施事業

[1124]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	39-0901	実施 計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	

事業目的と概要 (元年度分)
 都市再生整備計画
 健康都市中央地区 (H22～H26)
 尾張旭中央地区 (H27～R1)
 尾張旭市活力拠点地区 (R2～R6)

意図 (対象をどのような状態にしたいのか)
 「みんなで支えあう緑と元気あふれる住みよいまちづくり」を目標に都市再生整備計画を策定・進行管理し、各種事業を実施する。

手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
 社会資本整備総合交付金を活用するため都市再生整備計画の作成・変更を行い、事業最終年度に事後評価を実施する。
 1 健康都市中央地区 (平成22年度～平成26年度)
 (平成22年度にまちづくり交付金事業から社会資本総合交付金事業に変更)
 ・平成22年度 都市再生整備計画に基づき、社会資本整備総合交付金事業に着手。
 ・平成26年度 事後評価の実施。次期計画の策定。
 ・平成27年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。
 2 尾張旭中央地区 (平成27年度～平成31年度)
 ・平成30年度 事後評価方法書の作成。
 ・令和元年度 事後評価の実施。次期計画の策定。
 ・令和2年度 事後評価の目標数値について、フォローアップを実施。
 3 尾張旭市活力拠点地区 (令和2年度～令和6年度)

都市再生整備計画の中で子育て環境の充実を掲げており、関連する事業を進めることで、「子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合」が向上する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	計画の見直し	回	1	0	1	1
	評価会議開催数	回	0	0	1	1
成果指標						
事業費 計				421	3,596	2,969
財源内訳		ア 国			800	800
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般			421	2,796

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	次期都市再生整備計画を策定します。		
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	次期都市再生整備計画 (尾張旭市活力拠点地区: R2～R6) を策定した。		

道路占用事務

[491]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	39-0902	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市が管理する道路(路上、上空、地下)の占有者	<ul style="list-style-type: none"> 道路占用、公共物使用の許可等事務 <ul style="list-style-type: none"> <新規、変更> 道路占用等許可申請書の受理 申請書の内容の審査 必要に応じ現場確認および関係者との協議 占用の許可 占用料金の徴収 <継続占用物の占用料徴収> 毎年4月に継続占用物の占用料を徴収 <更新> 占用許可期間終了前に占有者へ連絡 必要に応じ更新手続きをしていただく 市道占有者会議の開催 大口占有者を対象に6月上旬に年間の工事予定等の確認 道路占用料条例の改正 平成30年1月1日を基準に、固定資産税の見直しがあった 平成31年4月に県が条例改正の見込み 県の条例改正後、令和2年4月に条例改正
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標	占用料調定件数(新規・更新、年間)	件	103	101	100	90
	道路占用許可件数(新規、年間)	件			950	850
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市計画課庶務事務

[948]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業 コード	99-0501	実施 計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市計画課		

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	・ 課の庶務事務、課員	主な庶務事務 文書の收受・管理 庁内外の照会・報告のとりまとめ 時間外勤務・出張命令書の整理 課の備品・消耗品の調達・管理 郵便物の発送 公用車の管理 都市計画関係図書の整理 予算決算に係る事務 入札・契約及び台帳整理 行政評価・事務事業評価に係る事務 人事考課に係る事務 都市計画諸証明に係る事務 国土法に基づく届出に係る事務 公拡法に関する事務 都計法第53条の許可に係る事務 職員互助会に係る事務 用途地域等照会事務 部内の調整 都市計画関連負担金事務 (所要時間：1日平均5時間×20日×12月)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	
・ 課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。 ・ 庶務事務の適切なフォローにより、都市計画課職員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動 指標							
成果 指標							
事業費 計			718	772	812	724	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	15	16	16	14
		ウ 地方債					
		エ その他		647	197	605	381
		オ 一般		56	559	191	329

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	未設定	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

都市整備課庶務事務

[950]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0502	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要(元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	課の庶務事務、課員	文書の收受(1,500件*10分 250時間) 文書の発送(500件*10分 83時間) 庁内文書の処理(閲覧・回覧 綴込 450件*10分 75時間) 行政評価の管理(46時間) 出張命令の整理(作成 提出 12回*60分 12時間) 年次休暇等の整理(作成 提出 12回*30分 6時間) 課内の備品、消耗品の調達・管理(12回*60分 12時間) 予算・決算に関する事務(308時間) 書類のコピー(12回*200分 40時間) 財務会計事務(帳票作成 決裁 複写 綴込 500件*10分 84時間) 単独公用車の管理(12回*30分 6時間) 郵便物の発送(12月*45分 9時間) 会議・研修会参加事務(閲覧 決裁 回答 綴込 50件*30分 25時間) まちづくり区画整理協会・県連事務(12回*120分 24時間) 宅地開発・76条許可等事務(600件*5分 50時間) 課へのメール等確認 返信・窓口対応・電話対応等(80時間)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・都市整備課の庶務的な事務が、正確かつ円滑に進んでいる。 ・庶務事務の適切なフォローにより、課員の進める様々な事務事業が円滑に進んでいる。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績	
活動指標	庶務事務所要時間						
成果指標							
事業費 計			2,570	2,973	2,421	2,067	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		3	2	1	1
		オ 一般		2,567	2,971	2,420	2,066

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

土木管理課庶務事務

[947]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0503	実施計画	
施策	01	質の高い住環境の整備	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 土木管理課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (元年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	土木管理課職員、公用車	文書の收受・管理 庁内文書の処理 庁内外の照会文書の調査・報告 郵便物の発送 出張命令書の整理 出勤簿・年次休暇処理簿の整理(工務員) 課の備品・消耗品の調達・管理 公用車の管理 会計事務 予算 決算に関する事務 行政評価・事務事業評価に関する事務 各種会議・研修 会参加に関する事務 入札・契約事務及び台帳整理 情報公開に関する事務 文書の廃棄処理 ホームページ事務 各種団体負担金に関する事務 土木積算システムに関する事務
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
課の庶務的な事務が正確かつ円滑に進んでいる。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	29年度実績	30年度実績	元年度当初	元年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計		千円	3,516	3,435	3,651	3,536
財源内訳	ア 国					
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他		14	13	11	17
	オ 一般	3,502	3,422	3,640	3,519	

R元年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R元年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R元年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R元年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-